

# 117期通信

北海道小樽潮陵高等学校1学年通信  
令和3年2月10日(水)発行 第23号  
潮陵1学年団

## ☆ビブリオバトル

冬休み中に読書した中から好きな本を各人1冊持ち寄ってクラス内でグループ発表、グループ代表者によるクラス発表、これらを経て各クラス1名代表者が選ばれました。先日の「学年発表」では、その選ばれし6名がそれぞれの愛読書について熱く語ってくれました。

その中で最優秀賞に輝いたのは、「ドグラ・マグラ(夢野久著作)」を紹介したB組のT. H君。話す迫力でこの本がいかに衝撃的であるかを伝え、本の概要を説明する際には上手に言葉を選び、何よりこの本の魅力を伝えたいという熱量を感じました。

優秀賞のA組W. Kさんの発表では、「ラッシュライフ(伊坂幸太郎著)」の複雑な人間模様を上手に表現する話し方に温かさを感じました。

その他4名の発表もそれぞれ味のある発表でした。D組M君は本の魅力と彼の個性が十分伝わる発表であり、唯一の新書を取り上げたC組H君の発表は会場を大いに湧かせてくれました。E組Nさんのまるでミステリー作品のナレーターのような語り口調は観衆を引き込み、F組Sさんの生き生きとした発表を聞いて、「その本を読みたい」と思った人も多かったのではないのでしょうか。



写真は学年発表者6名。左から

E組代表 N. Aさん【屍人荘の殺人】

F組代表 S. Rさん【かがみの孤城】

A組代表 W. Kさん【ラッシュライフ】

B組代表 T. H君【ドグラ・マグラ】

D組代表 M. K君【神様のカルテ】

C組代表 H. K君【昆虫は美味しい!】

## ☆総合的な探究の時間

このビブリオバトルをもって1年生で実施する「総合的な探究の時間」の全日程が終了しました。皆さんは今どんな感想を持っているのでしょうか。

以下が1年間に探究の時間で実施した内容です。

- ・ウェルカムウィーク(グループエンカウンター等:4月)
- ・探究オリエンテーション(6月)
- ・各種講演会(市長講演会4月、携帯電話利用講習会6月、進路講演会7月、薬物乱用防止講話10月)
- ・遠足(「大学訪問」の代替として実施:10月)
- ・球技大会(10月)
- ・英語スピーチコンテスト(10月)
- ・学部学科研究会(11月)
- ・アカデミックリサーチ(11~12月)
- ・ビブリオバトル(1~2月)

これらの実施の目的は、自分で課題を立て情報を収集・整理・分析する力、それらを文章にまとめプレゼンテーションする力、探究活動に主体的・協働的に取り組むことを通して他のよさを尊重する心、固定観念にとらわれず広い視野で考察する力、これらを養うことです。

多くの方は、自ら考え調べ発表するというプロセスの中で様々な「工夫」をしていたことと思います。とある本に、「工夫」の対極にある言葉は「いいわけ」だと書いてありました。できない理由を探す「いいわけ」ではなく、今置かれている環境の中で「工夫」することで物事は劇的に変わるはずです。探究の時間に関わらず、学習や部活動の各場面において、「工夫」して取り組む姿勢を期待しています。

探究の時間は終了しましたが、惜しくもクラス代表者に選ばれなかった生徒達の「発表原稿」の一部を今後各教室前に掲示する予定です。原稿を読むだけで、その本が読みたくなる内容ばかりが揃っていますので、ビブリオバトル続編としてそれらにも目を通してみてください。尚、3月の図書メールではビブリオバトル学年代表者のインタビュー記事を載せるそうですよ。そちらにも是非注目を。